



事業所通信No.191

特定非営利活動法人はちくりうす
東京都目黒区鷹番3-14-9
Tel : 03-3793-3012
Fax : 03-5856-6700
E-mail : office@Scurious.or.jp
https://www.facebook.com/Scurious
編集担当：島村喜久恵

たこの木クラブ 連続講座報告

第4回テーマ「出禁」

今回はこれまでの講師を招いてお話を聞いてからグループディスカッションをするという形式から変わって、講師なしで初めからグループに分かれてたっぴりと話をするという新しい試みになった。各グループのさらに絞り込んだお題は「居宅居住について」「街なかのお店」「作業所やグループホーム等の事業所契約」「コミュニティー、居場所」。

私は「街なかのお店」に参加した。出された事例は、商品のメロンパンを叩き潰す女性の話やスーパー等で暴れてしまうケース。無理やり止めようとする、かえってこだわってエスカレートしてしまう。お店からは謝ればよいというわけではないと言われたこともある。スーパーのケースでは何度目かの時にお店を出たところで警察官が待っていて連行され、その後お店の方も合流して「出禁」を通告された。

どちらも対応策として、支援者側がなんとなく外出の機会を狭めていった。それは支援者側というより親のニーズもあったようだ。スーパーがあった共同ビルに公民館も入っていたのでその場所には行くが、スーパーには入らない。当事者に

も混乱は起きる。出禁になるまでにはプロセスがあるが、本人に対するアプローチは個別性が高くなり、支援者間で共有化されていなかったりもする。事業所が複数入るとさらに難しい部分も出てきて、たとえば利用者宅にノートを置いていて書くようにしているが、6割くらいしか書かないなど、共有が図れないもどかしさがある。

また支援者側の課題として、自分の失敗談を話すのはどうしても責められてしまうと感じてしまい、出し合うのが難しいという側面もある。情報共有の場で自分の時はうまくいくと言われても答えようがない。

当事者との関係性の中で起こるケースについては、他者が入ったりいったん支援から離れるという形でリセットすることも必要だが、なかなか自分から言い出せず、表面化した時には事態が大事になっていたりと、その当事者支援は自分にはできないと追い込まれていたりする。

トラブルがあると当事者は出禁になる。支援者がつらいと思うときは一度支援から離れるのも必要な選択肢だと思う。けれどその先にどうやってお店や支援者との関係を再構築するかという視点が必要だと思う。

当事者にとっても支援者や街なかのお店にとっても「悪い記憶」だけが残り、それが風化していくのを待つだけではなく、成功体験を積み重ねて「よい記憶」

を上書きするプロセスが重要なのだと思う。そのためには日常のコミュニケーションがやはり重要になってくる。以前聞いたケースでは当事者を居酒屋に連れて行くときに、その支援者がそのお店の常連であることが安心感につながり敷居が低くなっているということがあったそうだ。お店にはお店の事情があることもあり、お互いの存在をいかに伝え合い、知っていかうということも大事なのだろう。

岩橋さんが語った「事を排除することと人を排除することを分け、事を排除しても人は排除しない」という信念を持つことの意味が問われるのだと思う。依存先の多様さは重要だと新たに思った。具体的な解決策がすぐに見つかるわけではないが、オープンダイアログのように、チームで対応する初動を早くすることが重要ではないかとも思う。

始まる前に実行委員会の中では、話が早く終わったグループは別のグループに参加してみるのもありだということも検討していたが、結果的には各グループ時間いっぱいまで熱い語り合いが続けられていたようだ。

講座終了後の懇親会は少数精鋭という感じではあったが、さらなる盛り上がりもあった。「出禁」というテーマはそのセンシティブな部分でなかなか語られる場面は少ないかもしれないが、だからこそ日常の中で意識していかなければと改めて思う。(櫻原)

第27回総会は 無事終了いたしました

特定非営利活動法人はちくりうすの第27回総会は5月28日(土)にWeb会議で開催。参加者は表決状・委任状を合わせ24名。以下の全ての議題について参加者全員の賛成で可決されました。

- 第1号議案 2020年度活動報告
- 第2号議案 2020年度活動計算書報告
監査報告
- 第3号議案 2020年度事業報告
- 第4号議案 役員改選について

なお役員については全員再任されました。
今後ともよろしくお願いたします。

自転車籠につける
パウチカード
を作りました

3日間の講習で資格も取れます
あなたの猫の手
貸してください!
ヘルパー募集中!
NPO法人 はちくりうす
03-3793-3012

3日間の講習で資格も取れます
あなたの猫の手
貸してください!
ヘルパー募集中!
NPO法人 はちくりうす
03-3793-3012

3日間の講習で資格も取れます
あなたの猫の手
貸してください!
ヘルパー募集中!
NPO法人 はちくりうす
03-3793-3012

月例会

■7月8日(金)
10:00~12:00
(鷹番住区センター・zoom)

1. 情報共有
2. 熱中症対策

7月は会場を借りてリアルとzoomのハイブリット開催を予定しています。



新職員ご紹介

石原麻美さんです。

初めまして。6月から入職いたしました。

石原 麻実と申します。

福祉の職は完全に未経験ですが、幼い頃から福祉の職に就く事が夢でしたので皆さんと過ごす毎日がとても幸せです。

至らない点ばかりですが日々勉強させて頂き、努力していきますのでこれからどうぞよろしくお願いたします。 石原 麻実



石原さんのお姉さんは学生時代に、はちくりうすでヘルパーとして働いていらっしやいました。

麻実さんも慣れない福祉の仕事で頑張っています。みなさま温かい目で見守ってくださいね。

島田静恵さんです。

島田さんは、はちくりうすでヘルパー

として働いて10年以上になるはち

くりうす女性ヘルパーの要です。

インタビューしてみました。

★「はちくりうすで働きつづけているのは？」

働きやすいから。受け入れてくれる利用者さんがいるから続けていられる。介助で障害のある人と係わって、皆、素直な人が多くて、自分も変わってきたと思う。

利用者さんと繋がりが出来て「ちょっと変わってきたかな」とか思う時が嬉しい。奥が深い良い仕事だと思う。

★「今考えていることは？」

利用者さんが地域で受け入れられない事もあるけど、偏見を持たずに受け入れられる社会になるといいと思います。



インフォメーション

しんどいって言えない

～当事者のわたしとあなたと
だれかをつなぐ～

オン
ライン

「しんどいって言えない」と感じたことはありますか？

だれかのなか、そして自分の中にある

「言葉にできないしんどさ」に目を向け、そこにたたずんだり、どうしていったらいいのかを考えるイベントです。

それぞれの「しんどいって言えない」苦しみや弱さのどん底のような経験が、「しんどいけどつながれる」きっかけになることを願って開催します。

日程：7月10日（日）オンライン（zoom開催）

時間：10:00～12:00

申し込みは→QRコードからホームページへ



ゆめパのじかん

ゆめパの一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあたためています。

子どもも大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を描き出したドキュメンタリーです。

■7月9日（土）より
ポレポレ東中野他公開

■割引チケットあります。
1,800円→1,500円
（櫻原まで）



編集後記 & 猫ブローチ プレゼント

急に暑い日が続いていますね～。今年は電力不安もあってどうなることやら。ガイドで外出も熱中症に気をつけてくださいね。

そんな日が続く今回のプレゼントはくるみボタンで作った猫ブローチ。

大きさは4センチ弱。カバンや帽子につけてみるのはいかが？

猫の種類もいくつかあるので、ホームページを覗いてみてください。一人猫部より。

